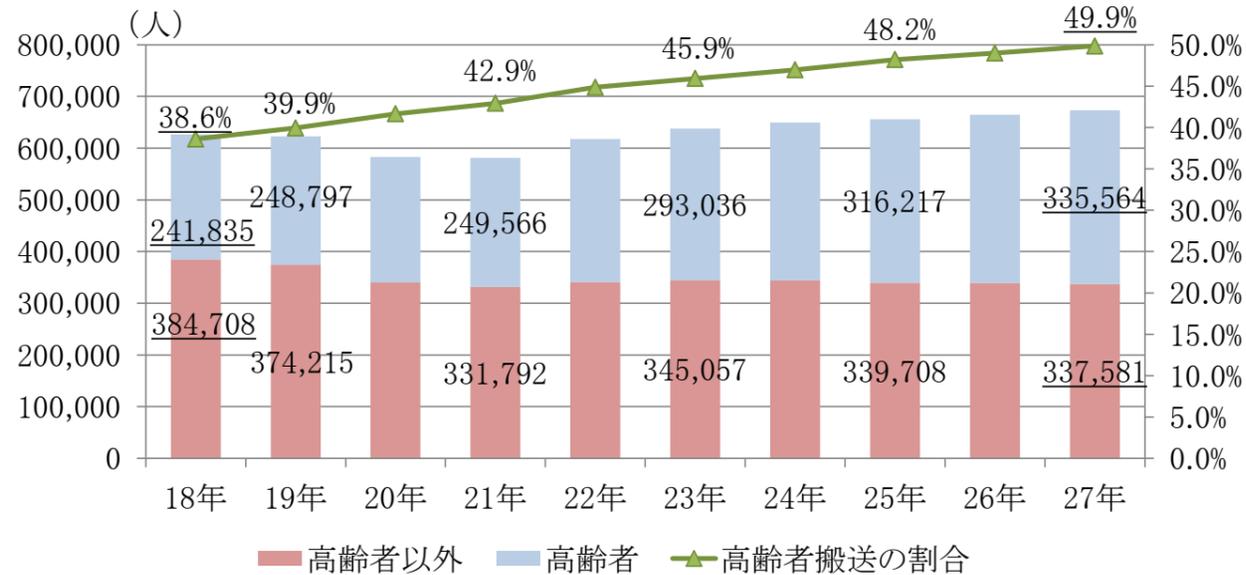


東京都における救急搬送及び二次救急医療機関の受入状況

これまでの救急搬送の状況

救急搬送人員の推移

○ 平成18年から平成27年までに救急搬送人員は約47,000人増加しているが、内訳は高齢者以外が約47,000人の減少、高齢者が約94,000人の増加となっている。



初診時程度別搬送人員

- 高齢者は、高齢者以外と比べ中等症以上の割合が高くなっている。
- 平成18年から平成27年までに高齢者の軽症、中等症以上の割合はほぼ変わっていない。また、軽症は約40,000人の増加、中等症以上は約54,000人の増加となっている。

■平成18年 (単位：人)

区分	高齢者以外		高齢者	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比
軽症	278,948	72.5%	98,892	40.9%
中等症	87,960	22.9%	111,569	46.1%
重症	11,558	3.0%	19,217	7.9%
重篤	5,230	1.4%	8,813	3.6%
死亡	1,032	0.3%	3,344	1.4%
計	384,728	100.0%	241,835	100.0%

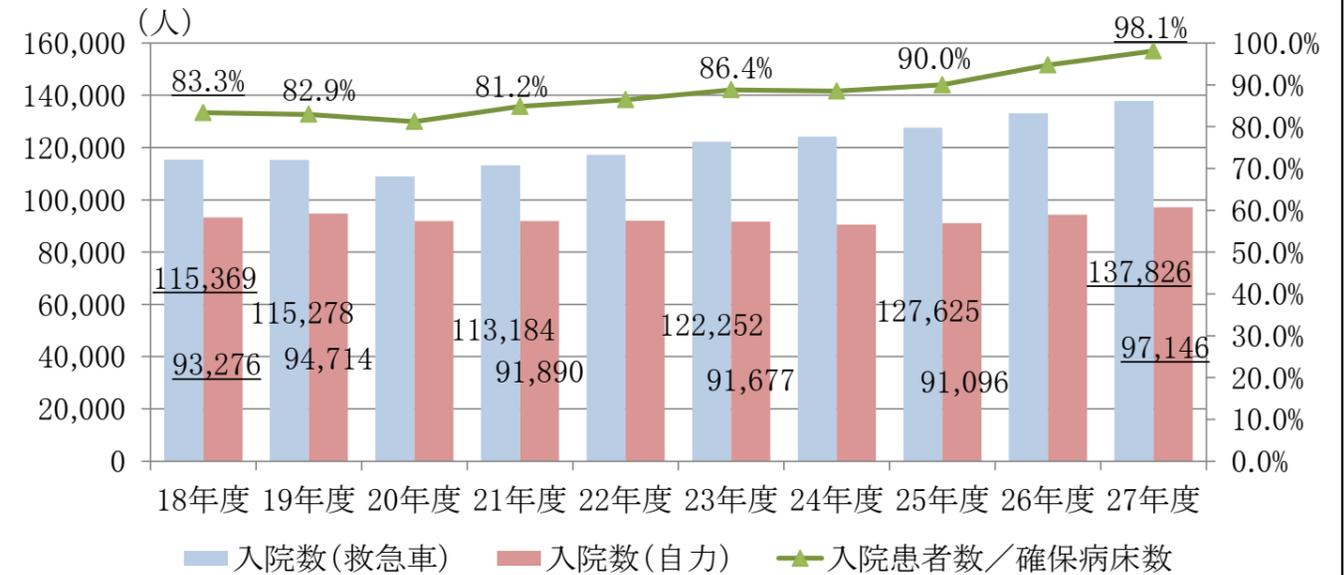
■平成27年 (単位：人)

区分	高齢者以外		高齢者	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比
軽症	225,111	66.7%	138,913	41.4%
中等症	96,976	28.7%	163,162	48.6%
重症	10,228	3.0%	19,766	5.9%
重篤	4,306	1.3%	9,248	2.8%
死亡	960	0.3%	4,475	1.3%
計	337,581	100.0%	335,564	100.0%

二次救急医療機関の受入状況

休日・全夜間診療事業実績の推移

○ 平成18年度から平成27年度までに休日・全夜間診療事業における入院患者数は約26,000人増加しており、確保病床数に対する入院患者数の割合は年々上昇している。



救急医療機関別の受入状況

- 休日・全夜間帯における救急患者の約96%は指定二次救急医療機関に集中している。
- 救急告示医療機関による受入れは、1年当たり約170件（休日・全夜間帯は約80件）
- また、二次救急医療機関の中でも、診療体制（人員、病床、施設）によって受入れに大きな差がみられる。

■平成23年 (単位：人)

区分	総数	平日日中	夜間休日
指定二次(250施設)	594,445	199,673	394,772
救急告示(71施設)	12,233	6,667	5,566
その他	19,594	99,117	9,677
計	626,272	295,457	330,815

